

Plan

Do

Check

Action

	プラン(3月) ○身に付けたい力 ・具体的な方策	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
小中連携	<p>○自分自身を見つめ、課題の解決に前向きに取り組む力を身に付ける。</p> <p>○自分の生き方に見通しを持ち、根気よく効果的な努力を重ねる力を身に付ける。</p> <p>○自分の良いところを客観的に見つめ、自己肯定間を高く保ち、何事にも前向きに取り組む力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との一貫性のある指導を追求する。 ・関係諸機関との連携を図り、個別の教育支援計画を作成し、生徒の将来を見越した包括的な支援を行う。進路指導を3年間を見通して系統的に行う。 	<p>○自分自身を見つめ、課題の解決に前向きに取り組む力を身に付ける。</p> <p>○自分の生き方に見通しを持ち、根気よく効果的な努力を重ねる力を身に付ける。</p> <p>○自分の良いところを客観的に見つめ、自己肯定間を高く保ち、何事にも前向きに取り組む力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係諸機関との連携を図り、個別の教育支援計画を作成し、生徒の将来を見越した包括的な支援を行う。進路指導を3年間を見通して系統的に行う。 ・小学校、各学年での基礎・基本的な取組を受けて、1学期最初に確認テストをおこなう、南塾との連携、家庭学習の推進等、各学年の実情に即した指導を工夫する。 ・チャイム2分前着席、忘れ物をしない、提出物の確認等、生徒の自主的な活動も含め定着させていく。 <p>○言語活動の力を定着させるため、読書活動を積極的に 行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書、教科、図書館活用による読書の定着をさせる。 	
国語	<p>○コミュニケーション能力・読解力・表現力を身に付ける。</p> <p>○体験したことや社会のルールや望ましい行動や態度について、文章で表現する力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行い、個に応じた学習目標・指導法を設定する。 ・漢字の読み書きや辞書引きにより語彙を習得させる。 ・文章を言葉の根拠に、内容や組み立てを読み解く授業を展開する。 ・行事や身近な経験を題材に作文を書き発表させる。 ・百人一首等を通して日本の伝統文化に親しむ。 	<p>○コミュニケーション能力・読解力・表現力を身に付ける。</p> <p>○体験したことや社会のルールや望ましい行動や態度について、文章で表現する力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行い、個に応じた学習目標・指導法を設定する。 ・漢字の読み書きや辞書引きにより語彙の正しい使い方を習得させる。 ・教科書の文章を言葉の根拠に、内容や組み立てを読み解く授業展開を工夫する。 ・日常生活の中からテーマを設定し、体験に基づいて自分の考えを書き、発表する練習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・百人一首等を通して日本の伝統文化に親しませる。 	
社会	<p>○学習した事を実生活の場で活用する力を身に付ける。</p> <p>○地図やグラフまた絵図資料の読み取り能力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行い、個に応じた学習目標・指導法を設定する。 ・地理学習は、地図、パソコン、ビデオ等を利用し、より具体性をもたせ、実生活の場面で照らし合わせて繰り返し学習を行う。 ・個々の能力差に応じてスキルアップができる課題を準備する。 ・絵図資料の種類、意味の基本確認を行い、読み取りの練習を行う。 	<p>○学習した事を実生活の場で活用する力を身に付ける。</p> <p>○地図やグラフまた絵図資料の読み取り能力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行い、個に応じた学習目標・指導法を設定する。 ・地理学習は、地図を、歴史的学習では絵や写真、パソコン、ビデオ等を利用し、より具体性を持たせ、実生活の場面で照らし合わせて繰り返し学習を行う。 ・個々の能力差に応じてスキルアップができる課題を準備する。 ・絵図資料の種類、意味の基本確認を行い、読み取りの練習を行う。自分が読み取った考え、感想などを発表して共有したり話し合ったりして考えを深め合う。協同的探究学習を行い意見を共有しながら考える力を身につける。 	
数学	<p>○数学的な物の見方や考え方。自分の考えを説明する力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行い、一人一人に応じた目標・指導法を設定する。 ・教科書を使用し、文章・式・表・図を正しく読み取る指導を行う。 ・ノートの指導を徹底する。(1マスに1文字を書き、位をそろえて計算する等) ・具体物の操作を取り入れる。実生活に即した文章問題に取り組み、習得した知識・技能を日常生活で活用できるようにする。 ・小テストを繰り返して実施し、計算力の定着を図る。 ・教材を精選し、スモールステップで指導を行う。説明を減らし、作業や演習を増やし、問題解決能力を身に付ける。 ・自分の考えを発表し、お互いの考えを聞き合う機会を設ける。 	<p>○数学的な物の見方や考え方。自分の考えを説明する力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別にグループ学習を行い、一人一人に応じた目標・指導法を設定する。 ・教科書を使用し、文章・式・表・図を正しく読み取る指導を行う。 ・ノートの指導を徹底する。(1マスに1文字を書き、位をそろえて計算する。直線は定規で引く等) ・実生活に即した文章問題に取り組み、習得した知識・技能を日常生活で活用できるようにする。必要な場面では、具体物を操作する学習を取り入れる。 ・小テストや家庭学習を通して、計算力の定着を図る。 ・教材を精選し、スモールステップで指導を行う。説明を減らし、作業や演習を増やし、問題解決能力を身に付ける。 ・自分の考えや別の解き方などを発表し、お互いの考えを聞き合う機会を設ける。 	
理科	<p>○指示の内容を理解し、正確に実験・観察を行う力を身に付ける。</p> <p>○実験・観察の結果を考察し表現する力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、実験・観察を取り入れる。1時間の授業の学習課題を一つに絞る。 ・実験の結果や自分の考えを発表し、検討し合う場面を設ける。(事実と意見を分ける。根拠をもって意見を述べる。) ・準備や片付け、安全に関する指導を徹底し、実験に自律的に取り組めるようにする。 ・ITC教育を取り入れ視覚的にわかりやすい授業を行う。 ・キャリア教育の観点から、科学と職業の関連についてふれる。 	<p>○指示の内容を理解し、正確に実験・観察を行う力を身に付ける。</p> <p>○実験・観察の結果を考察し表現する力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、実験・観察を取り入れる。1時間の授業の学習課題を一つに絞る。 ・実験の結果や自分の考えを発表し、検討し合う場面を設ける。(事実と意見を分ける。根拠をもって意見を述べる。) ・準備や片付け、安全に関する指導を徹底し、実験に自律的に取り組めるようにする。 ・ITC教育を取り入れ視覚的にわかりやすい授業を行う。 ・キャリア教育の観点から、科学と職業の関連についてふれる。 	

	プラン(3月) 〇身に付けたい力 ・具体的な方策	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 〇みんなで作り上げていく大切さや楽しさを、感じる気持ちを持たせる。 ・個別の目標を立て、達成されていく喜びを味わえる授業を行う。 ・課題を明確にして、どのように取り組むべきかを理解させる。 ・個人の得手・不得手を把握し、適切な役割を与え、みんなで作り上げていくことの意味を感じさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇みんなで作り上げていく大切さや楽しさを、感じる気持ちを持たせる。 ・個別の目標を立て、達成されていく喜びを味わえる授業を行う。 ・課題を明確にして、どのように取り組むべきかを理解させる。 ・個人の得手・不得手を把握し、適切な役割を与え、みんなで力を合わせて作り上げていくことの意味を感じさせる。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> 〇創造的に表現、鑑賞する力を身に付ける。 ・三原色を使った混色法で着彩し、色彩の基礎を理解させる。 ・基本的な技術を指導し、作品を完成させる達成感を体験させる。(形を認識する力、表現する力、正しい道具の扱い方など) ・友達の作品を鑑賞し、お互いの良さを認め合う場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇創造的に表現、鑑賞する力を身に付ける。 ・三原色を使った混色法で着彩し、色彩の基礎を理解させる。 ・基本的な技術を指導し、作品を完成させる達成感を体験させる。(形を認識する力、表現する力、正しい道具の扱い方など) ・友達の作品を鑑賞し、お互いの良さを認め合う場を設定し、自分で課題に気付き力を伸ばす。 	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 〇運動が苦手な生徒に、運動の喜びや楽しさを味わわせる。 〇自ら課題を見つけ、一生懸命に取り組む、実践できる力を付ける。 ・集団行動を通して、授業規律を確立させる。 ・基礎的な体力や筋力の向上を図る補強運動を毎時間取り入れる。 ・個別の評定を重視し、できた喜びを実感させていく。 ・個々の生徒が自身の体力や技能について知り、課題をみつける。 ・心身の発達や安全・健康についての授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇運動が苦手な生徒に、運動の喜びや楽しさを味わわせる。 〇自ら課題を見つけ、一生懸命に取り組む、実践できる力を付ける。 ・集団行動を通して、授業規律を確立させる。 ・基礎的な体力や筋力の向上を図る補強運動を毎時間取り入れる。 ・他の生徒との意見交換や観察を通して、自らに合った身体の動かし方を見つける。 ・個別の評定を重視し、できた喜びを実感させていく。 ・個々の生徒が自身の体力や技能について知り、課題をみつける。 ・心身の発達や安全・健康についての授業を行う。 	
職業・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 〇日常生活における基礎的な動作や作業を習得させる。 〇もの作りを通して実生活での活用を体験させる。 ・授業で取り組む内容を明確する。 ・一つ一つの作業工程をわかりやすく説明し個別指導する。 ・安全に作業を行わせ、道具の使い方や材料についての知識を習得させる。 ・家庭生活における自分の役割について意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇日常生活における基礎的な動作や作業を習得させる。 〇もの作りを通して実生活での活用を体験させる。 ・授業で取り組む内容を明確する。 ・一つ一つの作業工程をわかりやすく説明し個別指導する。 ・安全に作業を行わせ、道具の使い方や材料についての知識を習得させる。 ・家庭生活における自分の役割について意識させる。 ・完成した作品をお互いに品評し、各々の個性を引き出すように指導する。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 〇初歩的な英語に親しみ、会話表現ができるようにする。 〇言語や文化に対する関心を深め、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 ・リズム学習やチャンツ、歌など、様々な表現方法を用いながら英語のことばが右脳にインプットされるように取り組ませる。 ・ALTの先生と協力し、対話、交流をすることで、会話の定着を図り、国際人としてのマナーも身に付けさせる。 ・言語活動用のワークシートを使い、楽しく自己表現ができるようにする。 ・毎回聞く・話す活動に加えて、読む・書く活動も副教材やカードを使用、繰り返ししての練習が定着できるようにする。 ・個々の能力に配慮しながら必要に応じて文法の基礎知識を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇初歩的な英語に親しみ、会話表現ができるようにする。 自分達でお互いに会話をし合って話すことに慣れさせる。 〇言語や文化に対する関心を深め、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 ・習熟度別にグループ学習を行い、個に応じた学習目標・指導法を設定する。 ・リズム学習やチャンツ、歌など、様々な表現方法を用いながら英語のことばが右脳にインプットされるように取り組ませる。 ・ALTの先生と協力し、対話、交流をすることで、会話の定着を図り、国際人としてのマナーも身に付けさせる。 ・言語活動用のワークシートを使い、楽しく自己表現ができるようにする。 ・毎回聞く・話す活動に加えて、読む・書く活動も副教材やカードを使用、繰り返ししての練習が定着できるようにする。 ・個々の能力に配慮しながら必要に応じて文法の基礎知識を身に付けさせる。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校生活のあらゆる場面でいじめや差別を許さないことを通して、生命・個性・人権を尊重する態度を育てる。 〇ルールとマナーの学習を通して、規範を尊重した正しい行動が自主的にできるようにする。 ・生徒の直面する日常的なテーマから題材を選び、体験や意見を話し合う時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校生活のあらゆる場面でいじめや差別を許さないことを通して、生命・個性・人権を尊重する態度を育てる。 〇ルールとマナーの学習を通して、規範を尊重した正しい行動が自主的にできるようにする。 ・読み物教材の視覚化・演劇化を通して、生徒の理解を高める。 ・生徒の直面する日常的なテーマから題材を選び、体験や意見を話し合う時間を設定する。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> 〇自ら課題を発見・設定し、調査・体験を行い、成果を発表する力を身に付ける。 〇将来の社会的・職業的な自立への意識を高める。 ・農業体験・職場体験を通じたキャリア教育の推進。防災や節電等の取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇自ら課題を発見・設定し、調査・体験を行い、成果を発表する力を身に付ける。 〇将来の社会的・職業的な自立への意識を高める。 ・農業体験・職場体験を通じたキャリア教育を推進。防災や節電等の取組みを行う。 ・生徒が自ら計画し話し合う活動を設定する。 ・オリンピック・パラリンピックに関連した取り組みを行う。 	
特活	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校行事等を通して、通常学級との交流を深め、中学生としての一体感を高める。 〇近隣小学校及び地域との連携を通して、体験の幅を広げ規範意識や社会性を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校行事等を通して、通常学級との交流を深め、中学生としての一体感を高める。 〇近隣小学校及び地域との連携を通して、体験の幅を広げ規範意識や社会性を身に付ける。 ・委員や係の仕事を通して、社会に貢献しようとする態度を高める。 	

	プラン(3月) ○身に付けたい力 ・具体的な方策	プランの改訂(4月・9月)	プランの評価・改善(1月)
自立	<ul style="list-style-type: none"> ○他者の意図を正確に理解し、論理的に判断し、適切に表現する能力や日常生活において状況に応じて適切な対応をする力を身に付ける。 ○生活上の困難を改善・克服し強く生きる意欲を高める。災害などの不測の事態に対して、冷静に行動する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他者の意図を正確に理解し、論理的に判断し、適切に表現する能力や日常生活において状況に応じて適切な対応をする力を身に付ける。 ○生活上の困難を改善・克服し強く生きる意欲を高める。災害などの不測の事態に対して、冷静に行動する力を育てる。 ・ロールプレイなどを通して、人の表情や意図を正しく理解し、自分の表情や言葉を適切にコントロールする練習を行う。 	
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・予定変更時は、落ち着いた状況で全体に説明し、個別に説明や支援を行う。 ・時間や場面に合わせた行動ができなかった場合は、その都度、声掛けを行い、次回の行動目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○清掃活動を通して、集団での仕事の仕方を身に付ける。個人の作業を確実にすることはもちろん、仕事分担や時間の配分も考えて活動できるように指導する。 ・活動後に振り返りの話し合いを行い、自分たちで改善のための課題を見つけられるように指導する。 ・家庭生活をも含めた一日の生活全体が規則正しく送れるように意識づける。家庭との連携のもとに指導する。 	
生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を文章で表現させ、自己の成長を意識させる。 ○自己や集団の課題解決・目標達成を通して、自己肯定感を高める。 ・通常の学級や市内特別支援学級や小学校との交流学习などを表現の機会として意識的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を文章で表現させ、自己の成長を意識させる。 ○自己や集団の課題解決・目標達成を通して、自己肯定感を高める。 ・通常の学級や市内特別支援学級や小学校との交流学习などを表現の機会として意識的に活用する。 ・生徒が自ら計画し話し合う活動を設定する。 ・地域の人材を活用し、生徒に豊かな体験をさせる活動を一学期に一度企画する。 	
作業	<ul style="list-style-type: none"> ○指示の内容を理解し、指示に従って正確に作業を行う力を身に付ける。 ○安全への配慮が自分のできるようにする。 ・作業の過程をスモールステップに分割し、課題を明確にする。個別に評価を行い、技能を確実に習得させる。 ・作業と職業の関連について気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指示の内容を理解し、指示に従って正確に作業を行う力を身に付ける。 ○安全への配慮や時間配分が自分のできるようにする。 ・作業の過程をスモールステップに分割し、課題を明確にする。個別に評価を行い、技能を確実に習得させる。 ・作業と職業の関連について気付かせる。 	

実家庭の図学習のため	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の三者面談を行い、その時点での生徒の到達点と課題、方策を保護者とともに明らかにする。 ・進路に対する指導を一年次から行い、各人の長期的な学習のニーズを常に明らかにする。 ・各人のニーズに合わせて宿題や長期休業中の学習教室を実施する。
------------	--